



Hideyuki (Tsumeno-Hito) Kosumi

## 小住 (爪の人) 英之

趣味：ワインを飲むこと

北海道大学病院 皮膚科  
〒060-8638 北海道札幌市北区北15条西7丁目  
TEL：011-716-1161 FAX：011-706-7820  
Email：dermakoh@gmail.com

2015年 北海道大学医学部医学科卒業 小樽市立病院初期研修医  
2016年 北海道大学病院 初期研修医  
2017年 北海道大学病院 皮膚科 後期研修医  
札幌病院 皮膚科 医師  
2018年 北海道大学大学院医学研究院皮膚科学教室 博士課程入学  
2022年 同 修了  
JR札幌病院 皮膚科 医長  
北海道大学大学院医学研究院皮膚科学教室 客員研究員 (兼任)  
2023年 北海道大学病院 皮膚科 医師

### 【志望動機・皮膚科医として目指す夢】

ブルゴーニュワインの高騰は恐ろしい勢いです。先日「開運！なんでも鑑定団」で20年前に35000円で購入したロマネ・コンティ1989が、なんと400万円と査定されたことが話題になりました。ここまでの値上がりはなかなか珍しいと思いますが、私がワインにはまり始めた2019年に10000円ほどで飲めたワインが、現在20000円払っても入手できない、といったことがままあります。こうなるとおいそれとブルゴーニュには手を出せませんので、最近私は南アフリカワインを開拓しています。実は古くからワインを作っている歴史ある産地で、質の高いワインが驚くような値段で売られています。美味しい南アフリカワインを見つけた時に思い出すのが、ワイン好きでした故 清水宏教授の言葉です。「どんな分野でもいいから、自分の専門分野を見つけて、そこで世界一になりなさい」。そのフロンティア精神溢れる言葉を胸に、私は昼に爪の研究をして、夜に南アフリカワインを飲むという生活を送っています。恩師の教えの通り、自分の専門分野で世界一になり、「爪の人」と呼んでもらえるような研究者になるのが私の目指す夢であり、昼夜を共に楽しめる友達を増やしたいと思い参加を志望しました。よろしくお願いたします。

### 【演題】

#### Stem cell plasticity enables quick wound repair in nail

##### 【背景と目的】

組織は幹細胞によって形成・維持される。各組織において恒常性の維持を担う幹細胞は過去の細胞系譜実験によって解明されてきたが、上皮の損傷がどのように修復されるかの多くは未解明である。私たちは恒常的に物理刺激にさらされる上皮である肢端皮膚に着目し、損傷に対する上皮組織幹細胞のダイナミクスを観察・検討した。

##### 【材料と方法】

野生型およびKrt14CreER;R26R-confettiマウスなどの細胞系譜追跡可能なマウスを用いて、爪甲を除去し経時的に創部を観察した。

##### 【結果】

1. マウス爪を損傷すると数日で異常爪甲が形成され、数週で恒常状態に回帰する 2. 損傷後に生じるマウス異常爪甲は、爪下皮の損傷応答性幹細胞から作られる 3. ヒトにおいても抜爪後に類似の異常爪甲が観察される 4. マウス爪を反復的に損傷するとnail dystrophyとなり恒常状態に回帰しなくなる 5. Dystrophic nailでは爪母幹細胞および爪下皮幹細胞の不均衡が生じる

##### 【結語】

肢端皮膚において、損傷応答性幹細胞群が爪下皮に存在することが示された。